

# 日本赤十字東北看護大学大学院

## 看護学研究科修士課程

### 令和 8 年度

### 履修証明プログラム募集要項

履修証明プログラムとは  
キャリアアップに役立つ社会人向けの教育プログラムです。  
修了者には文部科学大臣が定める学校教育法第 105 条に基づく履修証明書  
が交付されます。  
個人のキャリアとして履歴書に記載することができます。



内容は本学ホームページ  
からもご参照いただけます



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

学校法人日本赤十字学園  
日本赤十字東北看護大学大学院

## 目 次

1	プログラム概要・目的	1
2	身に付けることができる能力	1
3	プログラム名、内容、履修期間	1
4	募集人員	1
5	募集日程	1
6	出願資格	1
7	出願資格審査(大学を卒業している方は必要ありません)	2
8	出願	3
9	選考方法	3
10	選考結果の通知	3
11	入学手続	3
12	費用	4
13	授業時間及び時間割	4
14	シラバス	5
15	その他留意事項	11
参考	修士課程教育課程	12

◎科目等履修生との違い

科目等履修生は社会人の学びなおしを支援する制度で、自分が興味のある科目を選んで履修が可能です。履修が終了した科目については、成績評価の上、単位が認定されます。

## 1. プログラム概要・目的

本学の履修証明プログラムは、研究に取り組む基礎能力を身に付け、研究課題を遂行する能力を養います。さらに学習を発展させることで、臨地や教育の場等で行われている研究活動を支援できる能力の向上を支援します。

## 2. 身に付けることのできる能力

- ・看護研究に取り組むための基礎能力
- ・看護研究に必要な統計理論や手法

## 3. プログラム名、内容、履修期間

プログラム名	プログラム内容（科目）	単位数	時間数	履修期間
研究実践プログラム	看護研究Ⅰ	2	30	1年間 (最長2年間)
	看護研究Ⅱ	2	30	
	情報科学特論	1	30	
	合計 5 単位 90 時間			

※各科目のシラバスについては「14. シラバス」をご参照ください。

## 4. 募集人員

5名

## 5. 募集日程

手続き	期間及び日程	備考
出願資格審査受付期間	令和8年1月21日(水)～1月28日(水)	該当者のみ
出願資格審査結果通知	令和8年1月30日(金)	〃
出願書類受付期間	令和8年1月22日(木)～2月4日(水)	当日必着
選考結果通知	令和8年2月24日(火)	本学ホームページ
入学手続き期間	令和8年2月24日(火)～3月4日(水)	当日必着

## 6. 出願資格

次の(1)～(11)のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学したものであつて、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程若しくは我が国において外国の大学の課程（その修了者が学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が指定する当該課程を修了し、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (11) 本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに22歳に達する者
- ※ (11) により出願する場合は、「7. 出願資格審査」をご覧ください。

## 7. 出願資格審査（※ 大学を卒業している方は必要ありません）

「6. 出願資格」(11) により出願する場合は、出願前に出願資格審査を受けていただきます。

出願資格審査において本学から「出願資格あり」と認定された後、「8. 出願」を確認し、出願してください。

### 1) 出願資格審査 申請手続期間

令和8年1月21日(水)から1月28日(水) 17時まで

締切日までに郵送（簡易書留又はレターパックライト）又は持参により必着

### 2) 出願資格審査 提出書類

出願資格審査の申請にあたっては、次の書類を提出してください。

① 出願資格審査申請書	<様式4>
② 最終学歴校の卒業証明書	

※ 様式4は、本学ホームページ(<https://www.rctohoku.ac.jp/>)から様式をダウンロードすることができます。

※ 申請書類に不備がある場合は、受付後であっても、これを受理しません。

※ 申請書類に虚偽の記載がある場合は、出願許可の後であっても、これを取り消します。

※ 提出した出願書類は、いかなる事由があっても、返還しません。

### 3) 出願資格審査 審査方法

提出された書類により審査します。

### 4) 出願資格審査 結果の通知

審査の結果は、令和8年1月30日(金)までにメールで通知します。出願資格申請書に記載されているメールアドレスに送信しますので、確認してください。

## 5) 出願資格認定基準

基準：短期大学・専修学校又は各種学校を卒業し、看護師・介護福祉士等の資格を有して3年以上の実務経験があること。

## 8. 出願

### 1) 出願期間

令和8年1月22日(木)から2月4日(水) 17時まで

締切日までに郵送（簡易書留又はレターパックライト）又は持参により必着

### 2) 提出書類

① 履修証明プログラム履修願書	<様式1>	
② 履歴書	<様式2>	
③ 出願及び就学承諾書	<様式3>	在職しながら履修する場合は、職場の長の承諾書を提出
④ 最終学歴の卒業(見込み)証明書及び成績証明書		出願資格審査時に提出済みの場合は再提出不要
⑤ 検定料 10,000円		本学内券売機での証紙購入又は振込 ※「11.費用」参照
⑥ 郵便切手 430円分×2組		

※ 様式1、2、3は、本学ホームページ(<https://www.rctohoku.ac.jp/>)から様式をダウンロードすることができます。

※ 出願書類に不備がある場合は、書類受付後であっても、これを受理しません。

※ 出願書類に虚偽の記載がある場合は、履修許可の後であっても、これを取り消します。

※ 提出した出願書類及び検定料は、いかなる事由があっても、返還しません。

※ 券売機の稼働時間は平日の8:30～17:00です。

## 9. 選考方法

提出された書類により審査します。面接を実施する場合は、出願後連絡します。

## 10. 選考結果の通知

提出書類の本学到着後3日以内に、受付番号をメールでお知らせします。入学願書には本人が確認のできるメールアドレスを記入してください。選考結果は令和8年2月24日(火) 本学ホームページに受付番号を掲載して発表します。

## 11. 入学手続

### 1) 入学手続期間

令和8年2月24日(火)から3月4日(水)まで

### 2) 提出書類

入学を許可された方には選考結果通知書とともに下記の書類が送付されます。

① 登録料振込依頼書	上記入学手続期間内に登録料を納入のうえ、「入学手続書類貼付用」を本学学務課へ提出
② 誓約書および履修生カード	すべて記入し、本学学務課へ提出



## 12. 費用

1) 出願時検定料：10,000 円

下記いずれかの方法で納入してください。

■本学学務課前券売機にて証紙「履修生入学検定料」を購入し、窓口へ提出

券売機稼働時間：平日 8：30～17：00

■本学指定口座へ銀行振込

振込先：秋田銀行 秋田東中央支店 普通 158455

北都銀行 本店営業部 普通 6375590

口座名：日本赤十字東北看護大学  
ニホンセキジュウジトウホクカンゴダイガク

※秋田銀行本支店、北都銀行本支店からの振込は手数料不要です。

※上記 2 銀行以外からの振込手数料はご負担願います。

※ATM 等での振込の場合は、振込人氏名の入力時、大学院識別番号「5」を名前の前に入れてください。

※窓口での振込で利用できる振込用紙は、ホームページからダウンロード可能です。

2) 登録料：30,000 円

令和 8 年 3 月 4 日(水)まで

選考結果通知書およびその他入学手続書類と同送で振込用紙を送付します。

なお、次に該当する方は登録料を免除します。

①日本赤十字東北看護大学、日本赤十字東北短期大学卒業生

②過去に日本赤十字東北看護大学大学院に入学金を納付している方

3) 履修料：60,000 円

令和 8 年 4 月 23 日(木)まで

入学後、振込用紙をお渡します。

## 13. 授業時間及び時間割

1) 授業時間

1限	9：00～10：30
2限	10：40～12：10
3限	13：00～14：30
4限	14：40～16：10
5限	16：20～17：50
6限	18：00～19：30
7限	19：40～21：10

2) 時間割

(参考) 令和 7 年度時間割 (令和 8 年度の時間割は令和 8 年 3 月中にお知らせします)

回	看護研究Ⅰ	看護研究Ⅱ	情報科学特論
1	4月9日(水) 6限	7月15日(火) 6限	4月8日(火) 5限
2	4月18日(金) 6限	7月15日(火) 7限	4月15日(火) 5限
3	4月18日(金) 7限	7月29日(火) 6限	4月22日(火) 5限
4	4月23日(水) 6限	7月29日(火) 7限	5月13日(火) 5限
5	4月23日(水) 7限	8月5日(火) 6限	5月20日(火) 6限
6	5月7日(水) 6限	8月5日(火) 7限	5月27日(火) 7限
7	5月7日(水) 7限	8月19日(火) 6限	6月3日(火) 5限
8	6月10日(火) 6限	8月19日(火) 7限	6月10日(火) 5限
9	6月10日(火) 7限	9月1日(月) 6限	6月17日(火) 5限
10	6月17日(火) 6限	9月1日(月) 7限	6月24日(火) 5限
11	6月17日(火) 7限	9月22日(月) 6限	7月1日(火) 5限
12	7月1日(火) 6限	9月22日(月) 7限	7月8日(火) 5限
13	7月1日(火) 7限	10月6日(月) 6限	7月15日(火) 5限
14	7月8日(火) 6限	10月6日(月) 7限	7月22日(火) 5限
15	7月8日(火) 7限	10月20日(月) 6限	8月5日(火) 5限
遠隔受講	可	可	可

## 14. シラバス

### 看護研究 I

担当教員 : 高田 由美・小野 麻由子・齋藤 貴子・井上 善行

単位数 : 2

時間数 : 30

必修/選択 : 必修

科目等履修生 : ○

遠隔授業可 : ○

授業の目的								
研究に取り組むための基礎能力を身につけるため、看護研究の各構成要素、研究計画の立案から成果発表までの研究プロセスを学ぶ。								
到達目標								
1. 看護研究の重要性について説明できる。 2. 看護研究の各構成要素について説明できる。 3. 研究計画の立案から成果発表までの研究プロセスを説明できる。								
DP要素	DP1	○	DP2	◎	DP3	○	DP4	
評価方法・基準								
1 授業への参加状況、プレゼンテーションと課題により評価する 2 評価割合は、参加状況(30%)、プレゼンテーション(20%)、課題(50%)とする。 事前・事後課題レポートに対するフィードバックは授業内で行う。								
履修条件								
特になし								
学習相談・助言体制								
相談・助言は、各教員のオフィスアワーで対応する。メールでの相談は随時受け付ける。								
その他注意等								
看護研究IIと合わせて、講義と演習を組み合わせて進める。 遠隔授業は学生が講義室の授業を自宅で受講する方法をとる。その際、遠隔授業の履修者はマイク・カメラ付きのPCを準備すること。								
実務経験								
大学院での研究指導経験を持つ教員が研究の着想から計画書作成までのプロセスを教える。								
テキスト								
ボーリット＆ベック、近藤潤子監訳、看護研究、原理と方法、第2版、医学書院、2010 坂下玲子・宮芝智子・小野博史、系統看護学講座 別巻 看護研究、医学書院、2023年改訂								
参考文献								
近藤潤子、研究の育て方 ゴールとプロセスの「見える化」、医学書院、2018。 木原正博訳、現代の医学的研究方法、質的・量的研究、ミクストメソッド、EBP、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2012。 各授業目の指定論文（量的研究、質的研究）は授業内で示す。								

授業内容					
回	授業内容	担当教員/授業方法	事前・事後学習（学習課題・取組時間）	遠隔授業可	お試し聴講
1	ガイダンス、事前課題のプレゼンテーションと討論	井上・高田 プレゼンテーション・討論	（事前）配付文献をよく読み、研究プロセスに対する設問に取り組む。課題に取り組み、よくわからなかったところを（疑問点・不明点）をまとめる（180分）	○	
2	看護研究の概要	井上・高田 講義・プレゼンテーション・討論	（事前）1回目の授業の振り返りを行い、研究に対してもっと理解したい点や学びたい点をまとめる。テキストの序章と第1章を読み、よくわからぬところをまとめる（180分）	○	
3	研究プロセスの理解 リサーチエクスチョンをたてる	井上・高田 プレゼンテーション・討論	（事前）テキスト2冊を用いて、「リサーチエクスチョン」についてまとめる（180分）	○	
4	研究プロセスの理解 文献とその種類	図書館司書・高田 講義・演習、面接授業	（事前）予め入手したい文献のテーマを幾つか決めてくる。その際、テキストの文献レビューの箇所を参考にする（180分）		
5	研究プロセスの理解 文献検索の方法	図書館司書・高田 講義・演習、面接授業	（事後）各自のテーマに沿ったキーワードを用いて文献検索し、入手した論文を読み大まかな把握をしておく（180分）		
6	研究プロセスの理解 研究における倫理的配慮	井上・高田 プレゼンテーション・討論	（事前）テキスト2冊を用いて「研究における倫理的配慮」についてまとめる（180分）	○	
7	研究プロセスの理解 研究デザインー研究の設計と方法の選択（量的研究・質的研究）	井上・高田 プレゼンテーション・討論	（事前）テキスト2冊を用いて「研究デザイン」についてまとめる（180分）	○	
8	研究プロセスの理解 データの収集・分析（量的研究・質的研究）	井上・高田 プレゼンテーション・討論	（事前）テキスト2冊を用いて「データの収集・分析」についてまとめる（180分）	○	
9	研究プロセスの理解 研究計画書の作成	井上・高田 プレゼンテーション・討論	（事前）テキスト2冊を用いて「研究計画書の作成」についてまとめる（各180分）	○	
10	研究プロセスの理解 目的と意義	井上・高田・小野・齋藤 プレゼンテーション・討論	（事前）指定論文（量的研究・質的研究）の目的と意義のクリティックを行う（180分）	○	
11	研究プロセスの理解 方法	井上・高田・小野・齋藤 プレゼンテーション・討論	（事前）指定論文（量的研究・質的研究）の方法のクリティックを行う（180分）	○	
12	研究プロセスの理解 結果	井上・高田・小野・齋藤 プレゼンテーション・討論	（事前）指定論文（量的研究・質的研究）の結果のクリティックを行う（180分）	○	
13	研究プロセスの理解 考察	井上・高田・小野・齋藤 プレゼンテーション・討論	（事前）指定論文（量的研究・質的研究）の考察のクリティックを行う（180分）	○	
14	研究課題の絞り込み リサーチエクスチョンの洗練	井上・高田 プレゼンテーション・討論	（事前）授業で得た知識を基に自身の研究疑問を再考し、発表の準備をしてくる（各180分）	○	
15	研究課題の絞り込み リサーチエクスチョンの洗練、まとめ	井上・高田 プレゼンテーション・討論	（事前）自身の研究疑問を解く方法とその理由を考え、発表の準備をしてくる（各180分）	○	

## 看護研究Ⅱ

担当教員 : 高田 由美・井上 善行

単位数 : 2

時間数 : 30

必修/選択 : 必修

科目等履修生 :

遠隔授業可 : ○

### 授業の目的

研究に取り組む基礎能力を身につけるため、量的研究及び質的研究におけるデータ収集と分析、結果の解釈と表現方法について学ぶ。

### 到達目標

- 量的研究及び質的研究の種類とそれぞれに適した研究法を説明することができる。
- 自己の研究疑問に適した研究デザイン、研究手法の選択、データ収集方法・分析方法を適用することができる。

DP要素	DP1	○	DP2	◎	DP3	○	DP4	
------	-----	---	-----	---	-----	---	-----	--

### 評価方法・基準

- 授業への参加状況、プレゼンテーションと課題レポートにより評価する。
- 評価割合は、参加状況(30%)、プレゼンテーション(20%)、レポート(50%)とする。  
事前・事後課題レポートに対するフィードバックは授業内で行う。

### 履修条件

特になし

### 学習相談・助言体制

各教員のオフィスアワーで対応する。メールでの相談は随時受け付ける。

### その他注意等

遠隔授業は学生が講義室の授業を自宅で受講する方法をとる。その際、遠隔授業の履修者はマイク・カメラ付きのPCを準備すること。

### 実務経験

大学院での研究指導経験を持つ教員が研究の着想から計画書作成までのプロセスを教える。

### テキスト

ボーリット & ベック、近藤潤子監訳、看護研究、原理と方法 第2版、医学書院、2010  
坂下玲子、宮芝智子、小野博史、系統看護学講座 別巻 看護研究、医学書院、2023年改訂版

### 参考文献

谷津裕子、Step up 質的看護研究、学研、2015  
石井辰子・多尾清子、ナースのための質問紙調査とデータ分析、医学書院、2002。  
木村泰子・近藤潤子、医療的看護のデザイン、研究の質を高める複数的アプローチ、第5版、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2024。  
歴史生のためのアカデミックライティング入門  
http://ir.library.osaka-u.ac.jp/web/HAN/index.html  
立教大学Master of Writing  
https://www.rikkyo.ac.jp/aboutus/philosophy/activism/CDSE/journal/leaflet/

授業内容					
回	授業内容	担当教員/授業方法	事前・事後学習（学習課題・取組時間）	遠隔授業可	お試し聴講
1～4	量的研究法 量的研究デザイン/信頼性と妥当性 対象者の選定 量的データの収集方法と調査項目 分析方法	井上 講義・演習・討論	（事前）テキスト第5章と第7章を読む。自身の研究テーマと量的研究法の適用可能性を考える（各180分）	○	
		井上 演習・討論	（事前）自身の研究テーマについて質問紙調査または実験を行ったと想定して、データ入力や分析方法を考え試行する（各180分）		
5～7	量的研究法 統計解析手法 結果の解釈・まとめ方	井上	（事前）自身の研究テーマについて質問紙調査または実験を行ったと想定して、データ入力や分析方法を考え試行する（各180分）	○	
		高田 講義・演習・討論	（事前）テキスト第5章と第8章を読む。自身の研究テーマと質的研究法の適用可能性を考える（各180分）		
8～10	質的研究法 質的研究デザインと対象者へのアクセス インタビューによるデータ収集方法 帰納的分析方法	高田	（事前）テキスト第7章を読む。模擬データのコーディングを行ってみる（各180分）	○	
		高田 演習・討論	（事前）テキスト第7章を読む。模擬データのコーディングを行ってみる（各180分）		
11～14	質的研究法 インタビュー、コーディングとカテゴリ化	高田	（事前）自己の研究疑問に適した研究デザイン、データ収集と分析方法を考えてくる（180分）	○	
		井上・高田 プレゼンテーション・討論、面接授業	修正案）自己の研究疑問を焦点化した過程と今後の方向性（研究デザイン含め）を考えてくる（180分）		

# 情報科学特論

担当教員 : 佐藤 考司

単位数 : 1

時間数 : 30

必修/選択 : 選択

科目等履修生 :

遠隔授業可 : ○

## 授業の目的

看護研究の遂行をするために情報処理は必須の分野である。

看護学における量的研究に必要な統計理論や手法について学ぶ。

研究デザインやデータの特性に適した統計手法の選択方法について学ぶ。

統計処理後の解析結果の解釈方法について学ぶ。

## 到達目標

1. 表計算ソフトを用いて、適切な表やグラフを作成できる。
2. 様々な統計手法を理解し、統計ソフトを用いて実行できる。
3. データに合わせて適切な統計手法を選択できる。
4. 出力された解析結果を適切に解釈できる。

## DP要素

### DP1

### DP2

### ◎

### DP3

### DP4

## 評価方法・基準

各統計手法についてのレポート 90%  
授業への取り組み 10%

学生へのフィードバック : レポート評価後、全体向けにフィードバックを行う。

## 履修条件

特になし

## 学習相談・助言体制

電子メールにて日程調整の後、対応する。

## その他注意等

履修者の状況により講義内容が変更となる場合があります。  
また、本講義はコンピュータの操作や統計処理の苦手な方のサポートも兼ねています。苦手な方は積極的に履修してください。  
遠隔授業は学生が講義室の授業を自宅で聴講する方法をとる。遠隔授業の履修者はマイク・カメラ付きのPCを準備のこと。

## 実務経験

なし

## テキスト

石村 貞夫、『SPSSによる統計処理の手順』第8版、東京図書、出版2018年

## 参考文献

講義内にて随時、提示

授業内容						
回	授業内容	担当教員/授業方法	事前・事後学習(学習課題・取組時間)	遠隔授業可	お試し 聴講	
1	ガイダンス、統計手法の選択	佐藤	事後学習 各講義にて、授業内容に関連する練習問題を提示(45分)	○		
		講義・演習				
2	量的研究論文に使用されている統計手法の理解	佐藤	事後学習 各講義にて、授業内容に関連する練習問題を提示(45分)	○		
		講義・演習				
3	エクセル入門、基礎統計量、信頼区間の推定	佐藤	事後学習 各講義にて、授業内容に関連する練習問題を提示(45分)	○		
		講義・演習				
4	表計算ソフトを用いたt検定	佐藤	事後学習 各講義にて、授業内容に関連する練習問題を提示(45分)	○		
		講義・演習				
5	表計算ソフトを用いた $\chi^2$ 検定	佐藤	事後学習 各講義にて、授業内容に関連する練習問題を提示(45分)	○		
		講義・演習				
6	統計処理ソフトSPSS ガイダンス	佐藤	事後学習 各講義にて、授業内容に関連する練習問題を提示(45分)	○		
		講義・演習				
7	SPSS (パラメトリック、ノンパラメトリック検定)	佐藤	事後学習 各講義にて、授業内容に関連する練習問題を提示(45分)	○		
		講義・演習				
8	SPSS (分散分析)	佐藤	事後学習 各講義にて、授業内容に関連する練習問題を提示(45分)	○		
		講義・演習				
9	SPSS (回帰分析)	佐藤	事後学習 各講義にて、授業内容に関連する練習問題を提示(45分)	○		
		講義・演習				
10	SPSS (判別分析、独立性の検定)	佐藤	事後学習 各講義にて、授業内容に関連する練習問題を提示(45分)	○		
		講義・演習				
11	SPSS (重回帰分析)	佐藤	事後学習 各講義にて、授業内容に関連する練習問題を提示(45分)	○		
		講義・演習				
12	統計処理ソフトEZR ガイダンス	佐藤	事後学習 各講義にて、授業内容に関連する練習問題を提示(45分)	○		
		講義・演習				
13	統計処理ソフトEZR (多変量解析)、サンプルサイズ等	佐藤	事後学習 各講義にて、授業内容に関連する練習問題を提示(45分)	○		
		講義・演習				
14	統計処理 総演習	佐藤	事後学習 各講義にて、授業内容に関連する練習問題を提示(45分)	○		
		講義・演習				
15	統計処理トピックス、まとめ	佐藤	事後学習 各講義にて、授業内容に関連する練習問題を提示(45分)	○		
		講義・演習				

## **15. その他留意事項**

- ・入学者には履修プログラム履修生証を発行します。図書館等の利用時に使用しますので、来学時は持参してください。
- ・学割証、通学証明書、在学証明書は発行できません。
- ・手続期間内に所定の手続きを完了しない場合は、履修の許可を取り消します。
- ・納入した納付金は原則返還しません。ただし、本学の都合による授業科目の開講中止の場合は、全学返還します。

## (参考) 大学院修士課程の教育課程

履修規程 別表1 (修士課程)

科目区分	分野	領域	授業科目の名称	単位数	必修選択	分野別必修	科目区分	分野	領域	授業科目の名称	単位数	必修選択	分野別必修
共通科目	看護政策論	看護研究 I	2	必修			看護研究 I	がん看護学特論	がん看護学	がん看護学特論 I (理論編)	2	選択	■
		看護政策論	2	選択	※1					がん看護学特論 II (病態生理学)	2	選択	■
		看護理論	2	選択	※1					がん看護学特論 III (援助論)	2	選択	■
		看護教育論	2	選択	※1					がん看護学演習 I (がん薬物療法看護)	4	選択	■
		赤十字看護特論	1	選択						がん看護学演習 II (緩和ケア)	4	選択	■
		英文講読	1	選択						がん看護学実習 I (CNSの役割実習)	1	選択	■
		情報科学特論	1	選択						がん看護学実習 II (がん治療管理実習)	3	選択	■
	心理学特論	心理学特論	2	選択						がん看護学実習 III (在宅がん看護実習)	2	選択	■
		コンサルテーション論	2	選択	※1					がん看護学実習 IV (高度実践実習)	4	選択	■
		看護倫理	1	選択	※1					老年看護学特論 I (理論編)	2	選択	◆
共通専門科目	臨床診断学	フォレンジック看護特論	2	選択						老年看護学特論 II (包括的アセスメント)	2	選択	◆
		臨床診断学	2	選択	※2					老年看護学特論 III (老年医学)	2	選択	◆
		病態生理学	2	選択	※2					老年看護学特論 IV (援助論)	2	選択	◆
		臨床薬理学	2	選択	※2					老年看護学特論 V (高齢者保健医療福祉政策とサポートシステム)	2	選択	◆
		感染看護学特論	2	選択						老年看護学演習 I	2	選択	◆
		看護管理学演習	2	選択	□					老年看護学演習 II	2	選択	◆
		看護管理学特論 I	2	選択	□					老年看護学実習 I	5	選択	◆
専門科目	看護管理学	看護管理学特論 II	2	選択	□					老年看護学実習 II	5	選択	◆
		看護管理学演習	2	選択	□					精神看護学特論 I (精神看護理論)	2	選択	▲
	母子看護学	成育看護学特論 I	2	選択	○					精神看護学特論 II (精神・身体状態の評価)	2	選択	▲
		成育看護学特論 II	2	選択	○					精神看護学特論 III (精神科治療技法)	2	選択	▲
		成育看護学特別演習	2	選択	○					精神看護学特論 IV (精神医療の歴史・法制度)	2	選択	▲
		助産概論	2	選択	●					精神看護学特論 V (慢性期精神看護)	2	選択	▲1
		リプロダクションに関する形態機能	2	選択	●					精神看護学特論 VI (司法精神看護)	2	選択	▲1
		ウイメンズヘルス論	2	選択	●					精神看護学演習 I (援助技法)	2	選択	▲
		妊娠分娩進行に伴う検査・診断・技術	1	選択	●					精神看護学演習 II (精神科治療技法)	2	選択	▲
成育看護学	助産学	助産診断・技術学 I (妊娠期・産褥期)	1	選択	●					精神看護学実習 I (専門看護師の役割機能実習)	1	選択	▲
		助産診断・技術学 II (分娩期)	1	選択	●					精神看護学実習 II (精神科診断・治療実習)	2	選択	▲
		助産診断・技術学 III (新生児期・乳幼児期)	1	選択	●					精神看護学実習 III (直接ケア実習)	4	選択	▲
		周産期ケア	2	選択	●					精神看護学実習 IV (サブスペシャリティ実習 1 : 慢性期精神看護・直接・間接ケア実習)	3	選択	▲2
		周産期の保健指導	2	選択	●					精神看護学実習 V (サブスペシャリティ実習 2 : 司法精神看護(医療観察法領域の看護)直接・間接ケア実習)	3	選択	▲2
		周産期の異常	2	選択	●					看護研究 II	2	必修	
		国際・地域母子保健	2	選択	●					課題研究	2	選択	
	助産管理・経営論	助産管理・経営論 I	1	選択	●					特別研究	6	選択	
		助産管理・経営論 II	1	選択	●								
		助産管理実習 I	9	選択	●								
専門科目	母子看護学	助産管理実習 II	1	選択	●								
		助産管理実習 III	1	選択	●								
		成人看護学	2	選択	△								
		成人看護学演習	2	選択	△								
		成人看護学特論 I	2	選択	△								
		成人看護学特論 II	2	選択	△								
		成人看護学特論 III	2	選択	△								
	がん看護学	がん看護学特論 I (理論編)	2	選択	◇								
		がん看護学特論 II (病態生理学)	2	選択	◇								
		がん看護学特論 III (援助論)	2	選択	◇								
健康療養生活支援看護学	老年看護学	老年看護学特論 I (理論編)	2	選択	◎								
		老年看護学特論 II (包括的アセスメント)	2	選択	◎								
		老年看護学特論 III (老年医学)	2	選択	◎								
		老年看護学特論 IV (援助論)	2	選択	◎								
		老年看護学特論 V (高齢者保健医療福祉政策とサポートシステム)	2	選択	◎								
		老年看護学演習 I	2	選択	◎								
		老年看護学演習 II	2	選択	◎								
	精神看護学	精神看護学特論 I (精神看護理論)	2	選択	▽								
		精神看護学特論 II (精神・身体状態の評価)	2	選択	▽								
		精神看護学特論 III (精神科治療技法)	2	選択	▽								
看護学生	地域共生看護学生	精神看護学演習 I (援助技法)	2	選択	▽								
		地域共生看護学特論 I	2	選択	☆								
		地域共生看護学特論 II	2	選択	☆								
		地域共生看護学演習	2	選択	☆								





ご不明な点についてのお問い合わせ、すべての郵送物の送付は下記へお願いします。

日本赤十字東北看護大学  
事務局学務課教務係大学院担当  
住所 〒010-1493  
秋田市上北手猿田字苗代沢 17 番地  
電話 018-829-4171 (直通)  
FAX 018-829-3030  
MAIL [g-school@rctohoku.ac.jp](mailto:g-school@rctohoku.ac.jp)